

令和 6 年 10 月 31 日

住宅局参事官(建築企画担当)付

**建築物のライフサイクルカーボン算定ツール正式版を公開しました！****～建設から解体までの CO2 排出量を評価可能に～**

産官学の連携により設置したゼロカーボンビル（LCCO<sub>2</sub> ネットゼロ）推進会議における検討を踏まえ、建築物のライフサイクルカーボン算定ツールである J-CAT の正式版が、本日公開されました。

- 2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、建築物を構成する資材等の製造、運搬、施工、改修、解体に至るまでの建築物のライフサイクル全体において発生する CO<sub>2</sub>（以下「ライフサイクルカーボン」という。）削減に向けた取組みが、欧米を中心に始まっています。
- このような動きを受け、産官学の連携により、令和 4 年 12 月に、一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター（IBECs）内にゼロカーボンビル（LCCO<sub>2</sub> ネットゼロ）推進会議<sup>※1</sup>を設置し、建築物のライフサイクルカーボンの評価方法の開発や、部材・設備等のデータベース問題の検討、海外情報の収集・共有に取り組んでまいりました。

※1 委員長は、村上周三 IBECs 顧問。会議は、国土交通省住宅局の補助事業により運営し、国土交通省住宅局等がオブザーバーとして参加。

- このたび、IBECs において、建築物のライフサイクルカーボン算定ツールである J-CAT（Japan Carbon Assessment Tool for Building Lifecycle）正式版<sup>※2</sup>が公開されました。

※2 令和 6 年 5 月に公開された試行版に、最新の知見や試行を踏まえた修正等を反映。

IBECs J-CAT 公表 HP : [https://www.ibecs.or.jp/zero-carbon\\_building/jcat/index.html](https://www.ibecs.or.jp/zero-carbon_building/jcat/index.html)

**【問合せ先】**

住宅局 参事官（建築企画担当）付

代表電話：03-5253-8111